

アフターサービスについては  
最寄りの弊社営業所、またはストロボクリニック課にご相談ください。

# COMET®

コメット株式会社

仙台営業所	〒981-8003	仙台市泉区南光台 4-29-25	TEL.(022)727-6521	FAX.(022)727-6523
東京営業所	〒174-0063	東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5788	FAX.(03)5916-5875
東京営業所 コマーシャル課	〒174-0063	東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5789	FAX.(03)5916-5876
東京営業所 ストロボクリニック課	〒174-0063	東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5794	FAX.(03)5916-5878
東京営業所 名古屋連絡所	〒463-0813	名古屋市守山区吉根南 501 101号室	TEL.(052)737-3175	FAX.(052)736-2841
大阪営業所	〒531-0075	大阪市北区大淀南 2-6-15	TEL.(06)7658-1188	FAX.(06)7658-4848
大阪営業所 ストロボクリニック課	〒531-0075	大阪市北区大淀南 2-6-15	TEL.(06)7658-1188	FAX.(06)7658-4848
福岡営業所	〒816-0912	大野城市御笠川 4-11-19 VI-2号室	TEL.(092)504-9005	FAX.(092)504-9006
海外事業部	〒174-0063	東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5786	FAX.(03)5916-5872
産業機器部	〒174-0063	東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5787	FAX.(03)5916-5874

URL <https://www.comet-net.co.jp>

E-mail [mail@comet-net.co.jp](mailto:mail@comet-net.co.jp)

2403-webA-9

# Radio Synchro System RS-Transmitter RS-Receiver USER GUIDE



取扱説明書

# COMET®



①. RS-発信器にCR2450 (3V) コイン形リチウム電池を入れてください。(P11 参照)

②. RS-発信器をカメラに接続します。  
カメラへの接続方法は次の2通りあります。

A. チャンネルスイッチが撮影者側に向くようにカメラのホットシューへ差し込んでください。

B. 付属のRS-TシンクロコードでRS-発信器のシンクロジャックとカメラのシンクロ端子を接続します。

注：本機はカメラのハイスピードシャッター、TTLモードには対応していません。また、カメラがライブビューモードになっている場合は正常に動作しません。カメラを通常モードにして、ストロボはマニュアルモードにしてください。



# 構成品 各部名称 RS-Receiver(RS-受信器)



# RS-Receiverのセットアップ

- RS-受信器にアルカリ乾電池単3形を2本入れてください。(P11 参照)  
(電池の極性を確認してください。)
- RS-受信器をストロボに接続します。  
ストロボへの接続方法は次の2通りあります。  
A. クリップオンストロボの場合  
ストロボをRS-受信器のホットシューに装着してください。  
B. 大型ストロボの場合  
付属のRS-RシンクロコードでRS-受信器のシンクロジャックとストロボのシンクロソケットを接続します。  
または、ストロボ付属のシンクロコードでRS-受信器のシンクロ端子とストロボのシンクロソケットを接続します。
- RS-発信器とRS-受信器のチャンネルスイッチを同じチャンネルに設定します。(P6 参照)
- RS-発信器とRS-受信器の電源を入れてください。  
カメラでのシンクロテストをしてください。
- RS-受信器を裏面の三脚ネジ穴で三脚などにセットする際に、付属のRS-ゴムワッシャーをすき間にはさんで固定することができます。
- 付属のアクセサリーシューホルダーと固定ネジで、RS-受信器をいろいろな場所にセットすることができます。



# シャッターレリーズモード

RS-受信器とカメラをレリーズケーブル(別売)で接続することで、カメラのシャッターをリモートで切ることができます。

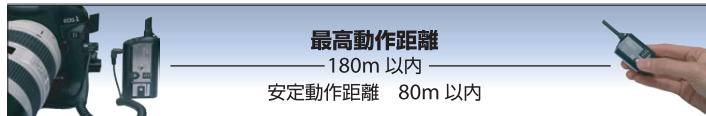
※リモコン端子が装備されているカメラのみ使用可能です。

※カメラに対応したレリーズケーブルについてはP12を参照してください。



- ①. レリーズケーブル(別売)でRS-受信器のシンクロジャックとカメラのリモコン端子を接続します。
- ②. RS-発信器とRS-受信器のチャンネルを同じチャンネルに設定します。(P6 参照)
- ③. RS-発信器とRS-受信器の電源を入れてください。
- ④. RS-発信器のレリーズボタンを押して、カメラのオートフォーカスとシャッターが正常に動作するか確認してください。

※P7～10の『正しい使い方』と『間違った使い方』を合わせてご確認ください。



# チャンネル調整

本機のチャンネル数は16チャンネルです。

RS-発信器とRS-受信器を同じチャンネルに設定してください。

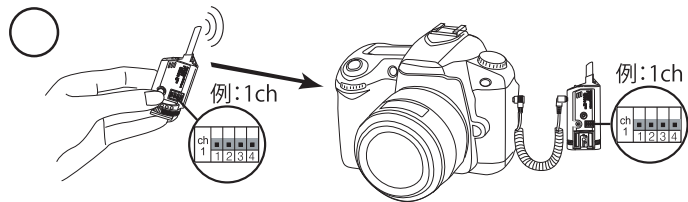
- ①. RS-発信器とRS-受信器の電源をオフにしてください。
- ②. RS-発信器とRS-受信器のチャンネルを同じチャンネルに設定してください。  
チャンネルスイッチを操作する際は、RS-発信器のバッテリーカバーまたは、ストラップ付属の設定ピンを使用してください。
- ③. RS-発信器とRS-受信器の電源をオンにしてください。  
RS-発信器のテストボタンを押して、RS-受信器が正常に受信しているか確認してください。



## 同じチャンネルに調整してください

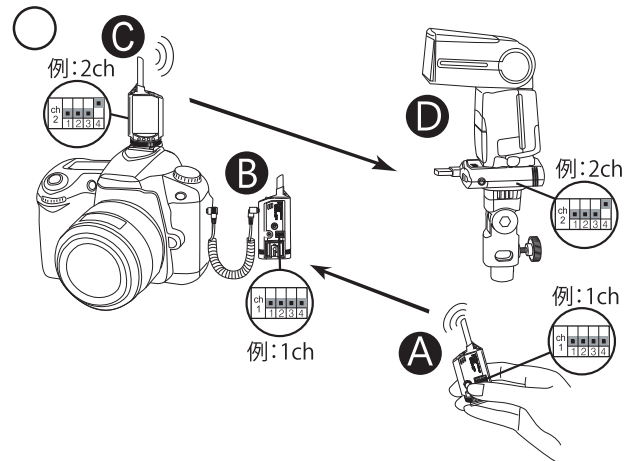
ch 1	ch 2	ch 3	ch 4
ch 5	ch 6	ch 7	ch 8
ch 9	ch 10	ch 11	ch 12
ch 13	ch 14	ch 15	ch 16

## シャッターレリーズモード:正しい使い方



RS-発信器とRS-受信器が同じチャンネルに設定されているか確認してください。  
RS-発信器のテストボタンを押して、リモートカメラのシャッターを切ってください。  
軽く押すとカメラのフォーカスが作動し、押し込むとシャッターが切れます。

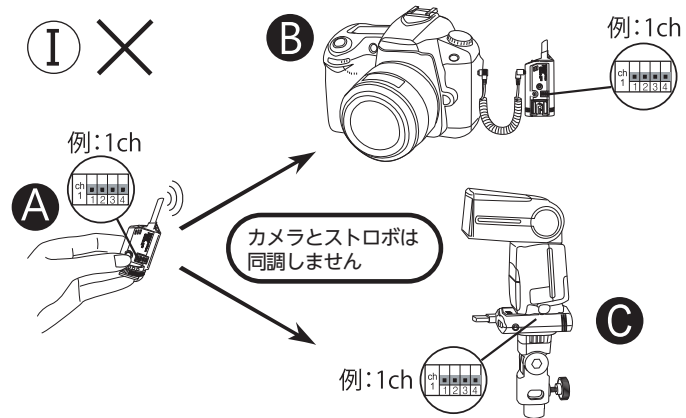
## シャッターレリーズモード:正しい使い方



カメラとストロボを同時にリモートでトリガーするには、RS-発信器とRS-受信器をそれぞれ2台用意します。

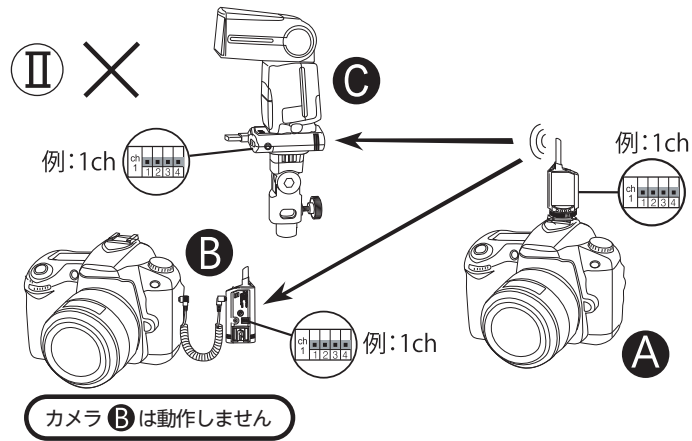
カメラをトリガーする送信機Aと受信機Bを同じチャンネル(例: ch1)に設定します。  
ストロボをトリガーする送信機Cと受信機Dを同じチャンネル(例: ch2)に設定します。

## シャッターリリースモード：間違った使い方



①の設定では、RS-発信器 **A** のテストボタンを押すとカメラ **B** のレリーズシャッターが作動し、ストロボ **C** が発光しますが、カメラのシャッターが切れる前にストロボが発光してしまいます。

## シャッターリリースモード：間違った使い方



②の設定では、カメラ **A** のシャッターボタンを押すとストロボ **C** はシンクロ発光しますが、カメラ **B** のレリーズシャッターは動作しません。

# 使用電池とACアダプター

※ 電池を入れたり、取り出したりする際は必ず、本機の電源をオフにしてください。

## RS-Transmitter (RS- 発信器)

CR2450 (3V) コイン形リチウム電池

- ①. バッテリーカバーをスライドして外します。
- ②. 電池ホルダーに表示されている図のとおり電池を入れてください。
- ③. バッテリーカバーを元に戻します。



## RS-Receiver (RS- 受信器)

アルカリ乾電池単3形 (1.5V) ×2本

- ①. バッテリーカバーをスライドして外します。
- ②. 電池ホルダーに表示されている極性のとおりに電池を入れてください。
- ③. バッテリーカバーを元に戻します。

※ 充電式電池 (1.2V) は使用できません。

※ 電池残量が少なくなると、無縁シンクロの不発が起きます。  
このような場合は新しい電池に交換してください。



## RS-ACアダプター (別売)

RS- 受信器底部のACアダプタージャックに接続します。

※ RS-ACアダプター以外のアダプターは絶対に使用しないでください。

※ RS-ACアダプターを使用する場合は、電池は必ず外してください。

# アクセサリ: リリースケーブルと各カメラの対応表

本機をシャッターリリース用としてご使用するためには、カメラに対応したリリースケーブルのご購入が必要です。

品名	メーカー名	対応カメラ
RS-RC-611 CANON	Canon	EOS R3、R5、1DXMarkIII、1DXMarkII、1DX、1DMarkIV、1DsMarkIII、5DMarkIV、5Ds、5DsR、5DMarkIII、6DMarkII、6D、7DMarkII
RS-RC-605 CANON	Canon	EOS R10、R8、R7、R6、R、RP、90D、80D、70D、60D、9000D、8000D、KissX9i、KissX9、KissX8i、KissX7i、KissX7、KissX6i、KissX5、KissX4、KissX80、KissX50
	PENTAX	645Z、645D、K-30、K-50、K-1、K-3 II、K-3、K-5 II、K-5 II s、K-5
	FUJIFILM	GFX100S、GFX100、GFX50S、GFX50R、X-H1、X-PRO3、X-PRO2、X-T5、X-T4、X-T3、X-T2、X-T1、X-T30、X-T20、X-T10、X-T100、X-E3、X-E2、X-E1、X-A5、X100F、X100T、X70、X30、XF10
RS-RC-603 NIKON	Nikon	Z9、Z8、D5、D4、D4S、D850、D810、D800、D500
RS-RC-604 NIKON	Nikon	D80、D70s
RS-RC-608 NIKON	Nikon	Z7II、Z7、Z6II、Z6、Df、D750、D600、D610、D7500、D7200、D7100、D7000、D5600、D5500、D5300、D5200、D5100、D3300、D3200、D3100
RS-RC-602 OLYMPUS	OLYMPUS	OM-D : E-M1、E-M5、E-M5 Mark II、E-M10、E-M10 Mark II PEN : PEN-F、E-P5、E-P3、E-PL8、E-PL7、E-PL6、E-PL5、E-PL3、E-PL2、E-PM1、E-PM2
RS-RC-607 SONY	SONY	α99 II、α99、α77 II、α77、α65、α57、α55、α33
RS-RC-613 SONY	SONY	α1、α9、α7RV、α7RIV、α7IV、α7RIII、α7III、α7SII、α7RII、α7II、α7S、α7R、α7

	RS-T (RS-発信器)	RS-R (RS-受信器)
周波数	2.427 GHz ~ 2.457 GHz	
チャンネル数	16	
最高動作距離	180m 以内 安定動作距離 80m 以内	
MAX シンクロ速度*	1/200 秒 以下	
トランスミッターのシンクロ電圧	3 ボルト (DC)	
レシーバーの対応最大フラッシュ電圧		300 ボルト (DC)
シンクロ端子	ホーンジャック (φ2.5)	3.5mm シンクロジャック (メス) ホットシューマウント、シンクロ端子
使用電池	CR2450 (3V) コイン形リチウム電池	アルカリ乾電池単 3 形 (1.5V)
電池寿命の目安	1 年または 2 万回	100 時間
寸法	31 mm × 26 mm × 80 mm	43 mm × 25 mm × 110 mm
重量 (電池別)	20 g	60 g

※カメラによって異なりますので、必ずテストをしてからご使用ください。

- RS無線シンクロ装置の安定動作距離は、見通しの良い場所で80m以内です。
- 無線周波数帯域での干渉や、壁、コンクリート、水辺、使用環境の特性により、動作距離が短くなることがあります。また、不発光、同調不良が起きる場合もあります。
- RS無線シンクロ装置は無線LANと同様に 2.4GHz帯の周波数を使用しています。  
無線LAN環境下では、電波の混信により受信不良を起こす場合があります。  
その場合、チャンネルを変更して同調テストをおこなってから、ご使用ください。  
(使用周波数:2.427GHz ~ 2.457GHz)